

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
 目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	3	キャラバンメイトの実施について	キャラバンメイトの資格を持っている職員が在籍している為、地域で講座を開催する事が出来る。スーパー等で認知症患者が万引きをしてしまうケースがある為、商店の店員に認知症とはを理解してもらい認知症への理解が深められる。	まずは地域の商店を対象に開催し、日時等を商店と相談し決めて行く。講座内容について事前に資料を用意し、認知症への理解が深められる内容となるように検討している。	10ヶ月
2	15	利用者様と一緒に職員が昼食を摂る事が出来る。	昼食を利用者様と一緒に摂る事ができて、同じ食事を楽しみながら食べる事ができる。	目標の達成に向けて、職員からの昼食代の徴収や、職員の休憩時間の確保といった課題があるので、検討調節をしていく。	8ヶ月
3	19	清掃が行き届いていない。	利用者様にできる部分を清掃して頂き、残った所は、苑内の清潔を保つことができるよう徹底する。	グループホームは、利用者様が清掃を行うよう職員が見守りながら行っているが、隅々までは難しい。残った所は早番や日勤がフォローしながら、6つのキーワードである「美」を強調し、清掃を徹底していく。	1ヶ月
4	13	災害時の地域連携について	災害時に地域と連携し相互の協力関係を築く事が出来る。	地域住民や近所の事業所と、災害時の避難場所としての受入体制や災害時の避難誘導等について日頃から連携を図り、緊急時の地域での協力体制の構築を図っていく。	10ヶ月
5					ヶ月